



学校教育目標

1 令和4年度 源池小学校グランドデザイン

人を愛して身を正し強い心で生きていく源池の子ども

愛・正・柔の心



<源池小のシンボル>
かっぱ像

育てたい子どもの姿

<保護者・地域の願い>

- ・一人ひとりの子どもの心に寄り添った支援の充実と確かな学力をつけてほしい。
- ・信頼関係のある安心できる学校であってほしい。

- 自分のよさを自覚し、友だちの良さを見つける心豊かな子ども
- 自分の考えをもち、友とかかわり合いながら主体的に課題を追究する子ども
- 心の中の美しいものをみつめながら、自分の個性や能力を精一杯伸ばしていく子ども
- 豊かな言葉や表現を身に付け、思いや願い、考えを自分の言葉で伝えたり、相手の考えを理解したりして、考えを広げ深めることができる子ども

<遊び>

<学び>

<鍛える>

<学校長の願い>

学ぶ喜びを感じ、助け合い、磨き合う仲間がいる。子どもたちの学びをしっかりと支える職員がいる。子ども・教師・保護者・地域の方々が、共に学び合い育ち合う。そして、子どもも職員も明日への希望をふくらませ、明日が待ち遠しい、そんな学校でありたい。

学校運営・指導の重点

豊かな心を育む学び

「愛 正 柔」の心

- ① お互いの違いを「自分らしさ」「その子らしさ」として認め合う関係づくり
- ② 考えや思いを伝え合う言語活動
- ③ 相手の状況や気持ちを考えながら人と関わる経験の積み重ね
- ④ あいさつの習慣化
 - ・校内、校外での「先あいさつ」
 - ・地域の人々とのふれあい
- ⑤ 人権教育・道徳教育の充実
 - ・豊かな人権感覚
 - ・自己肯定感や相手意識の醸成
 - ・いじめ、不登校の未然防止と早期対応

主体性・創造性を育む学び

自ら学び、成長していく力

- ① 「実物、本物、体験」を大切にしたい学び
 - ・失敗を恐れず挑戦する意欲と向上心
 - ・豊かな体験と新たな価値観の創造
 - ・子どもの「問い」を大切にしたい授業
 - ・課題を明確にした学習活動と振り返り
- ② ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進
- ③ 生活・総合での探究的な学びの推進
- ④ キャリア教育（源池子ども大学）
 - ・学び続ける意欲、自分の未来を切り拓いていくための力

多様性を育む学び

人間の持つ多様性への理解

- ① 価値観の多様さを理解しながら共感や思いやりを持って他者と向き合う態度
- ② 「多様な個のよさ」を見つけ、認め合える学級経営
- ③ 一人一人のニーズに応じた教育の充実
 - ・関係機関等との連携
 - ・特別支援教育に関わる研修の充実
 - ・個別の教育支援計画の作成
 - ・定期的な支援会議
- ④ 授業や学習環境のユニバーサルデザイン化（板書・掲示物・ICT利用等）

「みどりの時間」の充実

ひとりひとりが大切にされる学校
— 特別支援教育の充実・校内支援体制の構築 —

- 特別支援教育の視点に立った、学校経営・学級経営
- 授業や教育環境のさらなるユニバーサルデザイン化
- 特支コを核とした校内支援体制の充実（チーム支援）

めざす教師の姿

- 1 授業力・指導力・支援力の向上
日々の研修を重ね、授業力を向上させ、基礎基本の定着と共に子ども主体のわかる授業をめざします。
- 2 子ども・保護者との信頼関係
子どもたちの人格を尊重し、子どもや保護者と確かな信頼関係を築きます。
- 3 切磋琢磨する職員集団
互いに批評し合い、磨き高め合う職員集団をめざします。非違行為を根絶します。

<家庭・地域との協働>
コミュニティスクール
源池っ子応援団



開かれた学校づくり

- 参観日・各種行事
- ボランティアの方々との連携
 - ・読み聞かせ
 - ・見守り
 - ・クラブ講師
 - ・源池子ども大学 等
- 学級・学年・学校だよりの発行
- PTA活動との連携

安心・安全な学校

- 危機管理（日常管理と迅速な対応）
- 交通安全教育・防災教育の充実
- 職員の人権感覚の向上（研修）
- 相談窓口の設置と周知